熊本県立牛深高等学校普通総合学科ハンドブック

〒８６３－１９０２　天草市久玉町１２１６－５

ＴＥＬ：０９６９－７３－３１０５　　ＦＡＸ：０９６９－７２－６６０５

Ｅ－ｍａｉｌ：ｕｓｈｉｂｕｋａ－ｈ@ｐｒｅｆ．ｋｕｍａｍｏｔｏ．ｌｇ．ｊｐ

ｈｔｔｐ：／／ｓｈ．ｈｉｇｏ．ｅｄ．ｊｐ／ｕｓｈｉｋｏｕ

熊本県立牛深高等学校

牛深高校はみんなで一緒に伸びる学校です！

熊本県立牛深高等学校普通総合学科ハンドブック　目次

１　総合学科の歴史　・・・・１

２　総合学科設置の流れ　・・・・３

３　総合学科の特色　・・・・４

４　選択科目　・・・・４

５　系列とは　・・・・７

６　牛深高校の３つの系列　・・・・８

７　普通総合学科　・・・・９

８　よくある質問　・・・・12

９　科目選択の流れ（案）　・・・・19

１０　平成２８年度前期（特色）選抜　・・・・20

１１　本校の教育目標　・・・・21

リーフレット

※いつでも、どこにでも説明にうかがいます。お気軽に御相談ください。

１　総合学科の歴史

日本の高校は、長い間、普通教育を主とする普通科と専門教育を主とする専門学科（職業学科）の２学科が置かれてきました。

昭和３０（１９５５）年に５０％だった高校進学率は、昭和４９（１９７４）年には９０％を超え、現在は約９８％まで上昇しています。

また、大学などの上級学校への進学者も増加し、その結果、高校受験では、少しでも偏差値が高い学校へ入学しようと、受験競争が激しくなりました。

一方、高校では、若者たちがいろいろな価値観を持つようになったにもかかわらず、画一的な教育が行われ続けていました。高校に入学したけれども、自分のやりたいことと学校の授業が合わなかったり、進学一辺倒の指導や、細かくなり過ぎた専門教育についていけなくなったりして、不本意入学や中途退学が増加しました。

さて、学科別の進学率を見ると、昭和３０年では普通科への進学率が５９．８％、専門学科への進学が４０．１％だったのですが、平成２（１９９０）年では普通科７４．１％、専門学科２４．９％と、普通科への進学傾向が強まってきました。高校進学率が高まり、様々な進路希望をもった生徒が高校に入学するようになりましたが、普通高校では大学進学のための指導が重視され、就職など大学以外の進路を希望する生徒への対応が不充分となり、逆に、専門高校では、大学進学を希望する生徒が増えたのにもかかわらず、十分な進学指導ができないという状況がでてきました。

そうした中、平成３年４月、第１４期中央教育審議会は、生徒一人一人の特性

にきめ細かく対応し、個性や人間性を尊重するという視点に基づいた、普通科と職業学科を統合するような新たな学科を設置することを提言し、平成５年、普通科・職業学科に加え、普通教育と専門教育を総合的に学ぶことができる学科として総合学科を創設することが決まり、翌年、全国に７校の総合学科が設置されました。

総合学科は「将来の職業選択への自覚を深めさせる学習および主体的な学習を通して学ぶ楽しさを体験させる学習」を重視しますので、多くの教科・科目の中から、生徒自身が自分の進路希望や興味・関心等に応じて教科・科目を選択して学習することになります。そのため、総合学科を設置する高校では、多くの教科・科目を開設しています。

２　総合学科設置の流れ

平成　３（１９９１）年　　中央教育審議会答申
「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」

○「普通科と職業学科を総合するような新たな学科」の設置を提言

↓

平成　５（１９９３）年　　高校に総合学科を設置することを決定

↓

平成　６（１９９４）年　　全国に７校の総合学科高校設置

○岩谷堂高校（岩手県）、さくら清修高校（栃木県）、筑波大学附属坂戸高校（埼玉県）、木本高校（三重県）、和歌山高校、益田産業高校（島根県）、沖縄水産高校

平成　８（１９９６）年　　熊本県立翔陽高校開校（旧大津産業高校）

○募集定員２８０人、８系列（メカニクス、エレクトロニクス、システム技術、エコロジー、フードサイエンス、生活デザイン、情報ビジネス、人文理数）

↓

平成２２（２０１０）年　　八代工業高校機械科と八代東高校普通科のそれぞれの定時制を再編・統合し、八代工業高校定時制課程を開設、総合学科を設置。

○募集定員４０人、２系列（テクニカル、ヒューマンコミュニケーション）
※熊本県では、ほかに私立高校の開新高校が平成 16（２００４）年に総合学科を設置しています。

↓

総合学科を設置する高校は全都道府県にあり、３７１校を数えます。
（平成２７年度時点）

平成２７年４月に、新たな総合学科の高校として、
熊本県立牛深高等学校が誕生しました。

３　総合学科の特色

総合学科は、普通科、専門学科に加えて、普通教育と専門教育と両方の科目を選択し、総合的に勉強する学科として平成６年度に設置されました。第三の学科と言われています。

総合学科には、①普通教育に関する科目から専門教育に関する科目まで、幅広い選択科目の中から興味・関心や進路希望に応じて自分で選択履修する、②総合学科における必履修科目である「産業社会と人間」を通して、自分の進路を真剣に考える態度を育成する、③多くの学校が「学年制」であるのに対して、総合学科では「単位制」を原則とするなどの特色があります。

４　選択科目

総合学科の特色として、多くの教科・科目が開設され、生徒自身が自分の進路希望や興味・関心等に応じて選択することがあげられます。例えば、平成８年に開校した熊本県立翔陽高等学校（定員２８０名）には８つの系列（※系列の意味については、Ｐ７～Ｐ９を参照してください。）があり、普通教科のほかに、農業、工業、商業、家庭、体育、英語に関する専門科目が多数開設されています。牛深高校は、普通総合学科の高校ですので、翔陽高校ほど多くの専門教科は開設できませんが、それでも商業、家庭、体育、音楽、英語に関する専門科目を開設することができます。

【牛深高校で開設を予定している専門科目】

教　科	科　　目	内　　容
商　業	ビジネス基礎	社会の一員としての心構えと、ビジネスの様々な活動に対応する能力と態度を育てる。
	マーケティング	マーケティングに関する知識と技術を学び、マーケティング活動を行う能力と態度を育てる。
	ビジネス経済	ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を学び、経済の仕組みや考え方を理解する。
	経済活動と法	ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を学び、経済社会における法の意味や役割を理解する。
	簿記	簿記に関する知識と技術を学び、その基本的な仕組みを理解し、会計処理を行う能力を養う。
	財務会計Ⅰ	財務諸表を作成する知識と技術を学び、財務会計の意味や制度を理解する。
	原価計算	製造業における原価計算や会計処理に関する知識と技術を学び、原価の考え方を理解する。
	情報処理	ビジネスに関する情報を処理・分析し、表現する知識と技術を学び、情報を活用する能力を育てる。
	ビジネス情報	情報を効率的に処理することの重要性について学び、ビジネスにおいてコンピュータを適切に運用する能力を育てる。
	電子商取引	情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報についての知識と技術を学び、それを活用する意義を理解する。
	プログラミング	プログラミングに関する知識と技術を学び、プログラムの役割や重要性を理解する。
家　庭	生活産業基礎	衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業について学び、関心を高める。
	消費生活	消費生活、消費者の権利と責任、消費者と企業や行政との関わりを学ぶ。
	子どもの発達と保育	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を学ぶ。
	子ども文化	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などの知識と技術を学ぶ。
	生活と福祉	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を学び、福祉の充実に寄与する能力を育てる。

教　　科	科　　目	内　　容
家　庭	服飾手芸	手芸の種類、特徴、各手芸の知識と技法を学び、 創造的に製作し、服飾に活用する能力を育てる。
	フードデザイン	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどの知識と技術を学び、食育を推進する能力を育てる。
	食文化	食文化の成り立ち、日本と世界の食文化などの知識と技術を学び、食文化の伝承し創造する能力を育てる。
体　育	スポーツ概論	スポーツについての総合的な理解を図り、生涯を通してスポーツの振興に関わることができる能力を育てる。
	スポーツⅠ	採点競技及び測定競技の専門的な理解と技術の習得を図り、生涯を通してスポーツの振興に関わることができる能力を育てる。
音　楽	ソルフェージュ	音楽を形づくる要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を育てる。
	声楽	声楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、創造的に表現する能力を育てる。
	器楽	器楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、創造的に表現する能力を育てる。
英　語	異文化理解	英語を通じて、外国の事情や異文化について学び、異なる文化をもつ人々とコミュニケーションを図るための能力を育てる。

※生徒の希望状況等により、これらの科目が必ず開設されるとは限りません。

下の【平成２８年度入学生の教育課程】を見てください。赤い部分が自分で科目を選択する部分で、２年次・３年次にはそれぞれ２６単位分の科目を選択することになります。（単位制や単位についてはＰ１３を参照してください。）

【平成２８年度入学生の教育課程】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年次	国語総合				現社		数学Ⅰ				科学		体育			保健	芸術（ ）		社会と情報		コミュ英語Ⅰ				家庭基礎		選択（ ）		産社		HR
２年次	体育		保健	総学	選択科目																										HR
３年次	体育		総学		選択科目																										HR

※１年次「選択」は数学Ａ、英語会話、生活産業基礎、ビジネス基礎を想定。

※１年次「現社」は「現代社会」（公民）、「科学」は「科学と人間生活」（理科）、ｺﾐｭ英語Ⅰは「ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ」、「産社」は「産業社会と人間」を指している。

※２年次で「世界史Ａ」or「Ｂ」、理科を１科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）選択すること。

※２，３年次のいずれかで「地理Ａ」or「Ｂ」、「日本史Ａ」or「Ｂ」の４科目から１科目選択すること。

これだけ多くの科目を選択するのは難しいと思われますが、進路目標を達成するためにどのような科目を選べばよいか、生徒と教員が一緒になって考えていきます。また、科目を選ぶときの手がかりになるように「系列」を設定しています。

５　系列とは

総合学科には系列が置かれています。では、系列とは何でしょうか。

総合学科では、生徒が自分の進路目標や興味・関心に応じて、自分で教科・科目を選択します。しかし、例えば「らくそうな科目だから」「友達が選んだ科目だから」といった安易な考えで科目を選択すると、まったくまとまりに欠け、３年間で一体何を勉強したか分からなくなりますし、学力も定着しません。

また、進路目標に合った科目を選択しないと目標が達成できなくなる場合があります。そこで総合学科には系列が設定してあります。系列とは進路実現に向けて効率よく学習ができるように、体系性や専門性において関連する教科・科目をまとめたもので、生徒は系列に置かれた科目から自分に必要な科目を選択し、進路目標に向かって学習することになります。

6　牛深高校の３つの系列

牛深高校には、文理総合系列、専門教養系列、情報ビジネス系列の３つの系列があります。

①文理総合系列

学力の充実・向上を図るとともに、真理を探究する態度を養い、大学・短大等への進学及び公務員への進路につなげ、将来様々な分野で地域に貢献できる人材を育成することを目標としています。国語や数学などの普通科目を置く系列です。大学や医療・看護系への進学、公務員、一般企業への就職を目指します。

②専門教養系列

学力の充実を図るとともに、専門科目を学びながら適性や能力を磨いて進学や就職等の進路につなげ、スペシャリストとして地域に貢献できる人材を育成することを目指します。保育や食物をはじめとした家庭科系の専門科目、体育や音楽の専門科目を置く系列です。保育、福祉、体育、音楽系への進学や就職を目指します。

③情報ビジネス系列

学力の充実を図るとともに、積極的な資格取得により商業や情報についての探究心を深め、進学や就職等の多彩な進路につなげ、地域の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。ビジネス基礎や情報処理などの商業系の科目を置く系列です。商業系の進学や就職を目指します。専門科目を勉強してとった資格を生かして、大学に進学することも可能です。

7　普通総合学科

牛深高校は普通総合学科の高校です。では、普通総合学科とはどのような学科なのでしょうか。まず、その導入の経緯をみてみます。

平成１１年の「熊本県県立高等学校教育整備推進協議会報告」で、普通科は、中学生の希望する割合が一番高いことから、今後とも生徒や地域のニーズに応じた募集定員を用意する必要があるが、普通科の進路も多様化しているので、全県的な視野に立って、多様な生徒のニーズに対応できる総合学科などの他学科へ改編することも検討することとしました。とくに総合学科については、翔陽高校において一定の成果が見られることから、新たに導入することが望ましいとされました。設置場所については、高等学校の再編整備との関連で検討することとしました。

このことを受けて、平成１８年の「熊本県県立高等学校教育整備推進協議会最終報告書」で「生徒の多様な能力・適性、興味・関心に対応するために、普通科等を発展させたような※軽装備型の総合学科等も導入していくことが望ま

しい」とし、平成１９年の「県立高等学校再編整備等基本計画」において、牛深高校・河浦高校（普通科）の再編・統合の方向性として普通系総合学科の設置が決められました。

そして、平成２５年３月の「県立高等学校再編整備等後期実施計画」で、牛深高校と河浦高校普通科の再編・統合によって誕生する新校の学科として普通総合学科を設置することが決定しました。

※軽装備型の総合学科 上級学校（大学、短大及び専修学校等）への進学増加を考慮し、例えば自然科学、人文科学、人間科学、国際文化といった、上級学校の学問体系を視野に入れ、普通科等を発展させた総合学科

では、普通総合学科とはどのような学科なのでしょうか。これまで説明してきましたが、総合学科は普通教育に関する科目から専門教育に関する科目まで幅広い選択科目の中から、進路希望や興味・関心に応じて生徒が自分で選択履修するところが大きな特徴です。牛深高校は、牛深高校と河浦高校普通科を再編･統合してできた学校ですから、商業や家庭などの専門科目も開設しますが、特に国語や数学などの普通科目を充実させたいと考えています。普通総合学科では、普通科目の充実を図ることによって、進路目標を達成するために必要な学力を定着させ、伸ばすことができます。普通科目の充実とは具体的には次の３点です。

まず１点目。難関大学への受験から基礎科目の定着まで対応できる科目を開設します。少人数授業や習熟度授業の科目を開設することができるので、生徒一人一人の進路希望に合った授業になりますし、先生から分かるまで勉強を習うことができます。

次に２点目。大学や上級学校で行われているような授業を行い、勉強への興味・関心、意欲を高めていこうと考えています。

３点目。基礎学力がきちんと身に付きますので、専門科目の勉強も深まり、より高いレベルの資格取得に挑戦することができます。

普通総合学科は、総合学科の特性を生かしながら、進路希望１００％達成のために必要な学力をつけることを目標としています。

８　よくある質問

Ｑ１　総合学科の特色は何ですか。

１年次に、すべての生徒が「産業社会と人間」という科目を受け、自分についてよく理解し、将来就きたい職業について深く考え、体験的な学びを通して働くことの意義や大切さを学習します。

２年次以降は、進路目標に応じて選択した科目を中心に学習します。総合学科ではグループ学習や少人数の授業が増えます。また担任や教科担当の先生等との個別面談の機会が多くありますので、きめ細かな学習指導や進路指導を受けることができます。

Ｑ２　総合学科と総合選択制の違いは何ですか。

牛深高校と同じく平成２７年４月に開校した天草拓心高校は総合選択制の学校で、どちらも生徒の進路目標や興味・関心に応じて学習の選択幅を広げるものです。総合学科は、普通教育に関する科目から専門教育に関する科目まで、幅広い選択科目の中から自分で選択履修できる学科であるのに対して、総合選択制は自分の所属する学科の学習を基本としながら、他の学科の科目もいくつか選択できる仕組みとなっています。

Ｑ３　単位制とは何ですか。

牛深高校（附則）や河浦高校のような「学年制」の学校では、学年ごとに決められた教科・科目をすべて学び、その成果が認められてから、次の学年へ進級します。１年間で決められた単位数を修得できないと、つまり、決められた合格点をとらないと、再び同じ学年で勉強をしなおさなければなりません。（これを原級留置といい、一般的に「留年」といいます。）

「単位制」の学校では、決められた必履修科目以外は、自分で学びたい教科・科目を選択し、在学中３年間で卒業に必要な単位数を修得すれば卒業できます。原則として原級留置はありません。

Ｑ４　単位とは何ですか。

１年間で、その科目をどれだけの時間勉強するかということを表すのが「単位」です。たとえば、１年間、週に２回の授業がある科目は「２単位」と表します。授業にきちんと出席して、成績面でも合格することを「単位を取る」といいます。単位制の高校は、ある一定以上の単位をとれば、卒業できる仕組みになっています。

Ｑ５　「履修」・「修得」とは何ですか。

授業にきちんと出席していれば、その科目を学習したと「履修」が認められます。「履修」が認められた上で、さらに学習の成果を認められれば「修得」が認められます。単位制高校における単位認定は、この原則に忠実な形で行われます。そこで、①「履修」も「修得」も認められた場合（単位認定）、②「履修」は認められたが「修得」は認められなかった場合（単位不認定）、③「履修」も「修得」も認められなかった場合（単位不認定）という３つのパターンが考えられます。

一般的に言っている「必修科目」とは、「必履修科目」のことです。学習指導要領によると、必履修科目等は必ず「履修」しなければいけませんが、「修得」までは必要とされていません。そこで②のようなことが起こります。しかし、卒業に必要な修得単位数が決められているため、②や③になった場合は下級生のクラスに行って、単位が認められなかった科目を受け直すことがあります。

学年制の学校では、「履修＝修得」というとらえ方をします。そのため、全ての科目で「履修」と「修得」の両方を同時に認められなければ進級することができません。

Ｑ６　系列には定員がありますか。

系列は科目のまとまりのことです。だから「〇〇系列」に所属するということではありません。したがって、学科やコースと違って、系列には定員という考え方はありません。

Ｑ７　系列と学科・コースとの違いは何ですか。

系列とは、生徒が生徒自身の進路希望に沿った科目選択ができるように、関連する普通科目や専門科目を科目群としてまとめたものです。生徒はこの系列の科目を参考にして、自分の興味・関心に基づいて履修する科目を選択します。

一方、学科・コースは、特定の教科・科目に重点をおいた教育課程（学校で勉強する内容）なので、特定の教科・科目の授業時間が増え、より専門性が高い内容を学ぶことができます。しかし、一般的にはすでに教育課程が決まっているので、自分で科目を選択することはほとんどありません。

Ｑ８　自分で科目を選べるか心配です。

総合学科では、自分で科目を選択します。自分で選んだからこそ、授業に積極的に参加できますし、意欲をもって勉強に取り組むことができます。しかし、選ぼうとしている科目が本当に自分の進路に必要なのか、あるいはついていけるのかなどの不安がでてくるのも当然だと思います。そこで、牛深高校では、担任の先生をはじめ、色々な先生が、皆さんと進路相談をします。また、進路希望を達成するために必要な科目について説明をしたり、系列について丁寧に説明をしたりします。科目を選択するときにも、担任の先生、教科の先生、系列を担当する先生が親身になって相談にのります。選択したあとも、本当にこの選択で進路希望が達成できるか、卒業できるのか、一人一人について検討していきます。

もし、心配ごとが出てきた場合、すぐに相談してください。一人一人に寄り添う指導が、牛深高校の特色の一つなのです。

Ｑ９　「産業社会と人間」とはどのような科目ですか。

総合学科では必ず履修しなければならない科目で、１年次で週２時間の授業があります。「産業社会と人間」は、自分がどういう人間なのかを理解するところから始まり、将来の生き方や進路選択について考える学習を進めていきます。企業・上級学校見学（体験)、職業理解インタビュー、系列ガイダンス、外部講師による講演会などを実施し、最後は１年間の成果を発表会で報告します。「産業社会と人間」では、色々な先生や講師の方などから教えてもらえますので、自分の将来について真剣に考えることができます。

Ｑ１０　牛深高校を卒業したら、どのような進路がありますか。

皆さんには、進学して自分の好きな分野や、専門的な技術を勉強したいと思ったり、就職して社会人として活躍したいと考えたり、色々な希望があると思います。牛深高校では、大学、短大、専門学校、就職、公務員など、皆さんの進路希望に十分対応することができます。

Ｑ１１　クラスの人とは授業が別々になると、友達ができるか心配です。

２年次や３年次になると確かにクラス単位で一緒の授業を受ける場面は少なくなります。しかし、授業は同じような興味や関心を持った生徒が集まることになるので、共通の話題を持った友達ができると思います。先輩や後輩と一緒に受ける授業もあるかもしれませんので、同級生以外にも仲の良い知り合いができるのではないでしょうか。また、体育大会、文化祭、修学旅行、クラスマッチなどの学校行事はクラスで取り組むので、クラスの人とも十分に仲良くなります。

クラス、同学年、先輩、後輩と、幅広い人間関係ができると思います。

９　科目選択の流れ（案）

月	生徒の動き	職員（生徒への働きかけ）
３	◎合格者招集 新入生科目選択調査（１年次選択・芸術） 科目選択結果通知の受け取り	◎新入生ガイダンス
４	◎「産業社会と人間」の学習開始 （進路希望調査）	◎総合学科の仕組みと科目選択の概要
５	◎系列・科目ガイダンス ◎個別ガイダンス ◎二者面談 ◎情報収集	◎科目案内の活用 ◎系列・科目ガイダンス ◎個別ガイダンス ◎二者面談 ◎各系列との情報交換
６	◎科目選択基礎調査（選択表提出）	◎個別ガイダンス
７	◎選択科目の検討 ◎個別ガイダンス	
８	◎家庭訪問・三者面談 ◎保護者との相談 ◎職業人インタビュー	◎家庭訪問・三者面談 ◎保護者との相談
９		
１０	◎科目選択本調査（選択表提出）	◎選択科目の確認 ◎二者面談
１１		
１２	◎選択科目の確認（選択決定通知） ◎保護者への報告	◎選択決定通知 ◎保護者への周知徹底
１		
２	◎最終確認	◎最終確認
３	◎（再履修科目の選択）	◎（再履修が必要な生徒の対応）

※総合学科では、生徒・保護者と職員がよく話し合いながら選択科目を決定していきます。

１０　平成２８年度前期（特色）選抜　※昨年度の入試です。

（募集人員）

２４名（募集定員の２０％）

（重視する観点）

次の①～③のすべてに該当すること。

① 基本的生活習慣が身に付いており、基礎的な学力を有すること。

② 本校の教育活動に積極的に取り組み、自らを高めるために学び続ける意志を有すること。

③ 生徒会活動、部活動、ボランティア活動、地域の活動に取り組み、今後も継続しようとする意欲があること。

（検査内容）

○作文（５０分、６００字程度）

○個人面接（８分程度）、または２～３人をグループとした集団面接（１５分程度）

※受検生が３１名以上になったら集団面接とする。

（具体的な選抜方法等）

○作文（３割）

○面接（３割）

○調査書（４割）

１１　本校の教育目標

（建学精神）牛深高校と河浦高校で培われた歴史と伝統を継承しつつ、日々新たな教育活動に挑戦し、もって社会に貢献する有為な人材を育成する。

◎教育方針（校訓）:「誠実」・「敬愛」・「勤勉」・「創造」
◎育てたい生徒像：豊かな人間性と品格を備え、確かな学力を身に付け、進路の自己実現を目指し、強健な身体と強固な意志をもつ生徒

志高く、夢に向かっていきいきと生きる生徒
～他者への尊敬を忘れず、自己を大切にし、日々の努力を怠らず、健全な心身を養う。～

◎具体的目標

１　人権尊重の精神を涵養する教育活動の推進
（１）生きることの尊さと常に向き合う学校づくり
（２）人権教育及び特別支援教育を推進する体制の確立
（３）人権尊重の意識を高める研修の実施

２　豊かな人間性と品格を備えた生徒の育成
（１）“いのち”を大切にする心を育む教育の推進
（２）基本的生活習慣の確立
（３）読書活動の充実
（４）環境美化意識の高揚と実践
（５）ボランティア活動の推進
（６）生徒会活動や学校行事の充実による感動する心の醸成

３　生徒の未来を輝かせるキャリア教育の実践と学力の充実
（１）教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
（２）自らの在り方や生き方、進路についての考察の深化
（３）健全な勤労観・職業観を育成する体験的な学びの充実
（４）確かな学力と学びの習慣の定着
（５）学力の充実と進路目標に応じた個別指導の徹底
（６）教科指導力の向上と分かる授業の実践

４　開かれた学校づくり・魅力あふれる学校づくり
（１）中・高連携の強化
（２）育友会・同窓会との連携の強化
（３）地域の人材活用と地域への貢献（ボランティア活動の推進）

５　特色ある教育活動の実践と工夫
（１）生徒の進路希望に対応できる科目の開設
（２）生徒が主体的に取り組むことができる授業の実践
（３）より上位の資格取得を目指すことができる教育の実践

６　学校の教育力を高める手立ての開発
（１）学校評価、学校関係者評価、授業評価等の積極的な活用
（２）公開授業及び研究授業の充実
（３）教職員としての専門性を高める研修の実践

熊本県立牛深高等学校

〒863-1902　天草市久玉町1216-5　TEL　0969-73-3105　／ FAX 0969-72-6605

建学精神

牛深高校と河浦高校で培われた歴史と伝統を継承しつつ、日々新たな教育活動に挑戦し、もって社会に貢献する有為な人材を育成する。

新校の校訓

敬愛
豊かな人間性と品格を備え、他者を敬い、自己を大切にし、地域を愛する心を持つ。

勤勉
崇高な志を立て、あらゆる困難を克服する強固な意志と真理を追究する態度を養う。

創造
確かな勤労観を培い、創意工夫をもって未来を開拓し、有為な社会の形成者となる。

募集定員

○募集定員１２０人

前期（特色）選抜

○募集人員
・募集定員の２０％
○検査内容
・作文（3割）、面接（3割）
調査書（4割）

■総合学科とは・・・

○普通科、専門学科に次ぐ、「第三の学科」。普通教育に関する科目から専門教育に関する科目まで、幅広い選択科目の中から自分で 選択履修で きる。単位制。

文理総合系列

大学や医療・看護系への進学、公務員や就職を目指す。

○学力の充実・向上を図るとともに、真理を探究する態度を養い、大学・短大等への進学及び公務員への進路につなげ、将来様々な分野で地域に貢献できる人材を育成する。

専門教養系列

保育、福祉、体育、音楽系への進学や就職を目指す。

○学力の充実を図るとともに、専門科目を学びながら適性や能力を磨いて進学や就職等の進路につなげ、スペシャリストとして地域に貢献できる人材を育成する。

情報ビジネス系列

商業系への進学や就職を目指す。資格を生かした進学も可能。

○学力の充実を図るとともに、積極的な資格取得により商業や情報についての探求心を深め、進学や就職等の多彩な進路につなげ、地域の発展に貢献できる人材を育成する。

牛深高校がめざすもの　“牛深高校はみんなで一緒に伸びる学校です！”

○魅力ある科目の開設
生徒の興味・関心に応じた科目、少人数指導科目の開設

○キャリア教育
「産業社会と人間」を中心に、確かな勤労観と職業観を育成

○ガイダンス機能
生徒一人一人に対応する丁寧な科目ガイダンス・進路ガイダンス

学力の定着・生徒一人一人を大切にする教育

↓

進路希望の１００％達成